

鹿児島県 徳之島 シマの宝を未来へつなぐ 取材・言語化フィールドスタディ

- プログラム概要 : コピーライティングを通じて、徳之島山集落の魅力・課題を伝承する
 実習先 : 鹿児島県徳之島徳之島町
 実習先情報 : 豊かな自然と古き良き遺産に囲まれる、のどかで落ち着く場所です
 参加人数 : 26名
 学部学科 : 人間科学科、経済学科、経営学科、グローバルコミュニケーション学科、日本語コミュニケーション学科、看護学科、データサイエンス学科、建築デザイン学科、政治学科、日本文学文化学科、環境システム学科、会計ガバナンス学科
 実習期間 : 令和3年8月17日~8月26日
 本学担当教員 : 梅田大輔(教養教育センター 客員講師)



○はじめに

SDGs未来都市に徳之島町が選定（2019年）、世界自然遺産登録が決定（2021年）など、奄美群島の多様な自然と持続可能な地域づくりの取り組みが注目されている鹿児島県の徳之島。徳之島町と連携し、本来は畜産農家でのインターン、エコツーリズム開発の活動を合宿型で行う予定だったが、感染症対策によりオンラインでの活動に切り替え、「シマの宝を未来へつなぐ取材・言語化フィールドスタディ」としてリモートでの活動を行った。

○実習内容

- ・近年の自治体のシティプロモーション、シビックプライド醸成の考え方・大事さを学ぶ。
- ・徳之島・徳之島町についてのお話を聞き、動画による紹介を視聴し、理解を増やす。
- ・山（サン）という集落の方、出身の方（6人）をリモート取材し、文字起こしをする。
- ・山（サン）集落の生き方・誇り・未来像をスローガン・ステートメントに各自がまとめる。
- ・各自の書いたものを持ち寄り、グループごとに一つのスローガン・ステートメントをまとめる。
- ・エコツーリズム企画を各自が考案する。

○提案したこと、発信したこと

- ・6グループごとにまとめた「TOKUNOSHIMA SAN FOR 2030」スローガン・ステートメントを発表。一人ひとりが書いたものも提出。
- ・各自がエコツーリズム企画案を発表。オリジナルレシピ開発や収穫体験、写真大会などが挙げられた。



○経験したこと、学んだこと、など

徳之島は世界自然遺産にもなり、自然に愛されている場所だと感じた。ゆったりとした時間を過ごすのに最適な「山〈サン〉」という集落では、一方で、人口減少という大きな問題を抱えていた。私たちはその問題にじっくりと寄り添い、徳之島そのものを深く知るとともに、「今あるものをよりよく」という精神を軸に、自然と共存する生き方を語るステートメントを作成したり、エコツーリズムを考えた。そのほか、奄美群島の中では徳之島は奄美大島ほど知られておらず、観光客が余り多くないこと、物資を送ってもらうのにも時間がかかる離島の事情、しかし、教育は都会と引けを取らないほど力を入れていることなども学んだ。

○今後の展開、今後の学び、など

少子高齢化が進む日本において、徳之島と同じような課題を持つ地域は多くある。自分たちに今何ができるか。私たちがどう関わりあっていけるか。何をすることが一番喜ばしいことなのか。それを考えさせられるとても良い機会になった。今回のように、まずはその地域に対する理解を増やすこと。そして、地域が発信しているものを積極的に拡散して、多くの人に知らせることがとても大切であることがわかった。

○担当教員より

・オンライン活動によりフィジカルな体験ができなくなったため、コピーライティングゼミの活動ノウハウをもとに「取材・言語化」を軸とした活動に再企画し、実施しました。徳之島町企画課・梅山良介様、集落支援員・林美樹様、地域起こし協力隊・福本慶太様をはじめとする徳之島町の方々が、リモートでの活動を実りのあるものにしようとしてご尽力くださいました。リモート取材環境の整備、動画を撮影・編集して島や集落の様子を見せてくださるなど、手つかずの自然が残る離島ながら、テレワーク環境、クリエイティブファクトリー施設整備などを進めている徳之島町らしい先進性も感じることとなりました。

・オンライン化で活動時間も短縮されたため、参加学生26人全体での交流を深めることは諦め、学部が混ざるように6グループに分けてグループごとの取材・議論・オンラインホワイトボードでの共同作業を行うようにしました。グループごとの学部を超えた交流は生まれて、コロナが終わったら一緒に徳之島に行こうといった声が出ていたことはよかったのではないかと考えています。

(客員講師・コピーライター 梅田大輔)

私たちの「日常」を繋げていく。

サンゴ礁が豊かな海。休み時間に釣り。道にクロウサギ。

そんな豊かな自然の下での暮らし。

このサンによって作られた私たち。

私たちを囲む輪は決して大きくはないけれど、

輪の強さは何年も前から伝統を受け継いできたもの。

これは私たちにとっては、

当然のことで普通で日常だけど、

本当はそうじゃないかもしれない。

寄っては返す波のように

一緒に寄り添いあっていこう。

一人じゃないから。

自然にあふれた私たちの「日常」を

私たちの力で繋げていく。

SAN FOR 2030

TOKUNOSHIMA

F 班（渡辺杏奈、田中、片桐、黄）

魅力のある徳之島へ

シマはこんなにも広いのに、人々の距離はとても近い。
人手が足りていない、そんなときは近隣の皆で助け合う。
船に乗るかと言をかけると、嬉しそうそうに「乗る！」の一声。
そんなあったかい場所「徳之島」

私たちの先祖は持続的な生活を営んできた。
徳之島に行けば、人を気にせず自然を楽しめる。
本来の自分を見つめ直す機会が訪れる。
目的がなくても必ず自分を変えてくれる機会がある。

近年は若年層の人口減少が目立ち、人手不足が私たちに悩ませる。
若い世代が本土で培った縁を上手く活用してみよう。
観光地の案内に宿の紹介、ヒトの繋がりは広がっていく。
私たちが伝えていこう、徳之島の魅力を。

SAN FOR 2030 TOKUNOSHIMA

E班（石田、渡邊颯、鈴木、吉田奉弘）

人と自然を継承する

自然に恵まれた集落、山集落

人とのつながりが強い集落、山集落

当たり前だと思っていたけれど、ここにしかない素敵なところ

今日急激に変化している情報社会に対応しながらも

「美しい景色」や、おいしい「山の幸・海の幸」

「人の温かさ」という良さを残して

たくさんの人にこの場所に帰ってきてもらいたい

だから私たちは挑戦する

この集落を進化させ

「人の温かさ」や「自然の豊かさ」が残る

もう一回、帰ってきたくなる場所にするために

この島の素晴らしさを残していけるように

飾らない日々を残していけるように

継承していこう、次の山集落へ

SAN FOR 2030

TOKUNOSHIMA

B 班（榭谷、中村、吉田楓佳、加納）

おはようさん。

シマのために、島のために、未来のために。

いつもの日常を非日常に。非日常を日常に。

あなたは、都会の時間に追われる生活に疲れていませんか。

人間同士の関係に、神経をすり減らしていませんか。

ばったり会った人とたまごおにぎりでちょっと一息ついてみたり。

自分らしく、何にも追われずのびのび過ごしてみたり。

ここは、晴れを喜び、雨を楽しみ、大自然に包まれて生きる場所。

そこにはいつも“暖かい”がある。

入院したらシマのみんなが心配してくれる。

子供を育てたなら、みんなが親になってくれる。

想いの数だけ人は暖かくいつも私を見守ってくれている。

明日はどんな1日にしよう。

SAN FOR 2030

TOKUNOSHIMA

A 班（柳沼、高久、武藤、松本、王）

ありのまま
自然と自然のミライを。

幸せってなんだろう、
生きること、
友達と遊ぶこと、
美味しいご飯を食べること、
家族とはなすこと、
これって全部自身がしたいこと。
他の誰かに強制されるわけでもなく、
自身が望むこと。

ありのまま
自然と自然で成長していくことを大切にしたい。

ここ
一生後悔なく生きることができるのが山だから。

さいご
この集落に住んでよかったと思える瞬間を。
身体で感じなきゃわからないことばかり。
心一つに汗をかく。
伝統を継承する。
新しいものは何も望まない。
今あるものを大切に。

ここ
おかえりなさいと言ってくれる山の人たちが集落にいる。
あなたが愛する場所はどこなのだろうか。

SAN FOR 2030
TOKUNOSHIMA

D班（保原、皆川、崔、森、渡邊美佳）

捉える、造る、結ぶ。

サンに暮らす私たちに大切なこと————それは身近にいる人との縁を捉え、同時に身近には見えない外との縁を捉えることだ。私たちの身近に見えるシマの日常を、伝統を、魅力を、どのように捉え、どのように造り、どのようにして伝えるか。

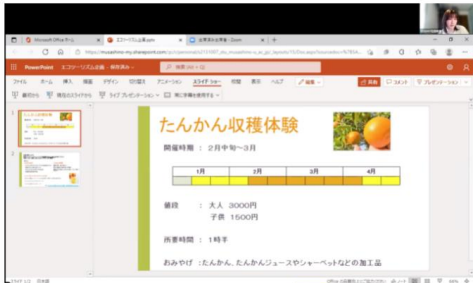
今・サンでは様々な企業や島外の団体と連携し、教育をはじめ多くの分野で最先端の技術を取り入れている。コロナ禍では、以前から取り組んでいた ICT 教育が功を奏し、いち早く子供たちにオンライン授業を提供することができた。

未来・ICT や最先端のものを学びながら、間近にある世界自然遺産を、伝統をいかにして持続可能に守っていくか。島外の技術と、シマの魅力をいかにして結びつけるのか。これが私たち、そしてシマを担う次の世代の役目だ。

SAN FOR 2030 TOKUNOSHIMA

C 班（猪野、古藤、治田、土屋）

○エコツーリズム企画 一部抜粋



たんかん収穫体験

開催時期：2月中旬～3月



1月	2月	3月	4月

値段：大人 3000円
子供 1500円

所要時間：1時半

おみやげ：たんかん、たんかんジュースやシャーベットなどの加工品

石田桃香

収穫体験をしながら
農家さんから「たんかん」についての豆知識やおいしい食べ方を教えてもらう！
収穫した後は、実際に剥き方を教えてもらいながら実食！

例えば...

・たんかんとは？

たんかんはポンカンとネーブルの交配種のみかん
南国のミカンと親しまれている
みかんより少し大きめで150gほど
生産量は鹿児島が8割

・たんかんの特徴

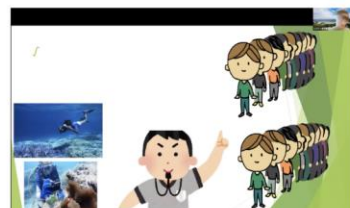
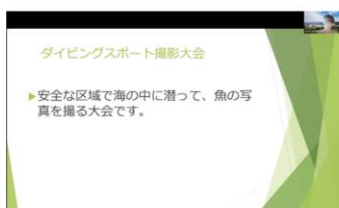
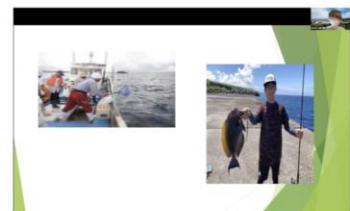
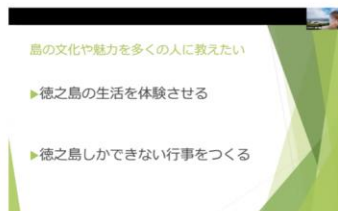
糖度が高く、濃い味わい！
果汁が豊富で芳醇な香りが特徴！
果肉を包む薄皮じょうのうが薄く、パクパク食べられる！

・たんかんのおいしい食べ方やアレンジ方法など

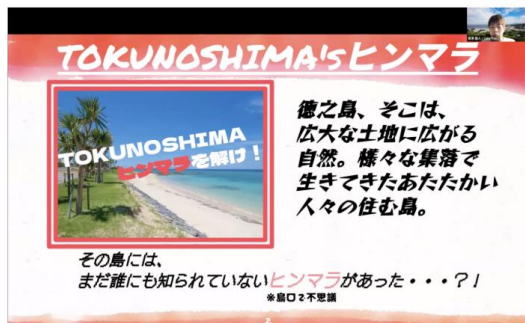
地元では「鶏飯」といって、たんかんの皮を擦って薬味にする郷土料理がある
たんかんをスライスしてドライフルーツに
たんかんの皮をかりんとうに etc.....



参考：タンカン/短橘/たんかん/挿柑：旬の果物百科 (foodslink.jp)



保原悠人

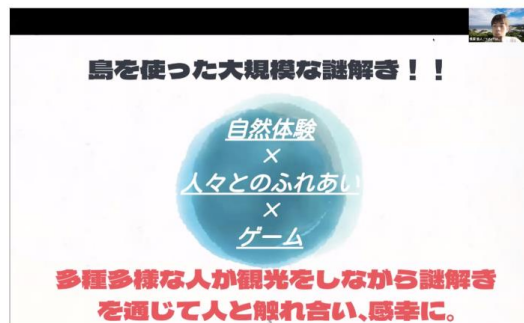


TOKUNOSHIMAとヒンマラ

TOKUNOSHIMA
ヒンマラを解け!

徳之島、そこは、
広大な土地に広がる
自然。様々な集落で
生きてきたあたたかい
人々の住む島。

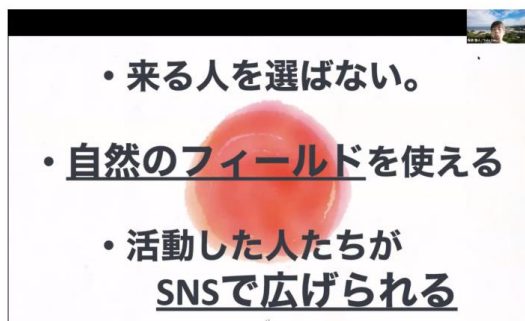
その島には、
まだ誰にも知られていないヒンマラがあった・・・?!
*山口2不要語



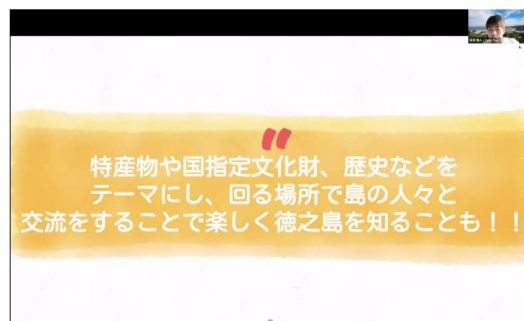
島を使った大規模な謎解き!!

自然体験
×
人々とのふれあい
×
ゲーム

**多種多様な人が観光をしながら謎解き
を通じて人と触れ合い、感幸に。**



- ・ 来る人を選ばない。
- ・ 自然のフィールドを**使える**
- ・ 活動した人たちが
SNSで広げられる



”

特産物や国指定文化財、歴史などを
テーマにし、回る場所で島の人々と
交流をすることで楽しく徳之島を知ること!!



2021年FS

**山集落
エコツーリズム企画**

2115136渡邊美佳

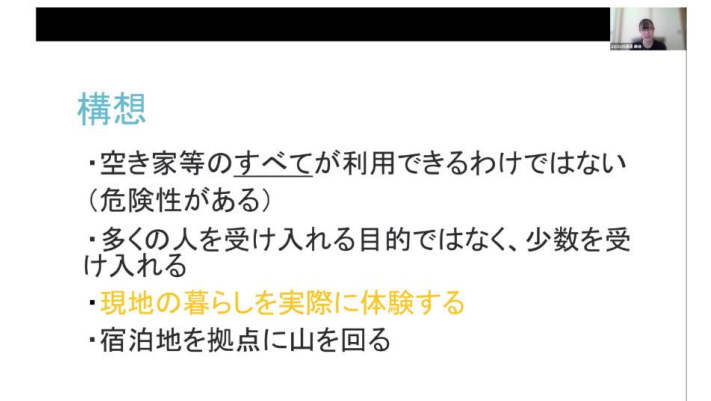


使われていない建物の
有効活用

空き家、廃ホテルを利用した
宿泊施設



渡邊美佳



構想

- ・ 空き家等の**すべて**が利用できるわけではない
(危険性がある)
- ・ 多くの人を受け入れる目的ではなく、**少数**を受け入れる
- ・ **現地の暮らしを実際に体験する**
- ・ 宿泊地を拠点に山を回る

○エコツーリズム企画 一部抜粋



エコツーリズム
の企画書

徳之島・固有種や希少種を見つけよう!

文学部一年 2113199 治田廉正

徳之島の希少種を見つけよう!

目的・単独にきれいな動物たちを見に行く
・この希少種の存在をみんなに知ってもらい、
交通事故などのリスクを減らしていく

内容 ・周りを見渡しながら、山を登る。
・山を登りながら、トクシマエビネなどの希少植
物はもちろん、ひょっとしたらアマミノクロウサギなどの
国の特別天然記念物などの動物たちに出会えるかも。

方法 ・ツアーガイドをつけながら山に入り、植物の説明
を受けながら山を登る。
・そして、それを写真に収め、記録に残し

治田廉正



このツアーを通して、
島の魅力を堪能するだけでなく、
少しでも多くの人々に絶
滅危惧種となっている動植物
の存在を知ってもらい、この
動植物を守ろうと思う人が少
しも増えていけばいいと考
えています。



食×自然

地産地消を五感で感じる
エコツーリズム

C班 経営学科 土屋好

徳之島
エコツーリズム企画

土屋好

食×自然

地産地消を五感で感じる
エコツーリズム

美味しい。
で
終わらせない。

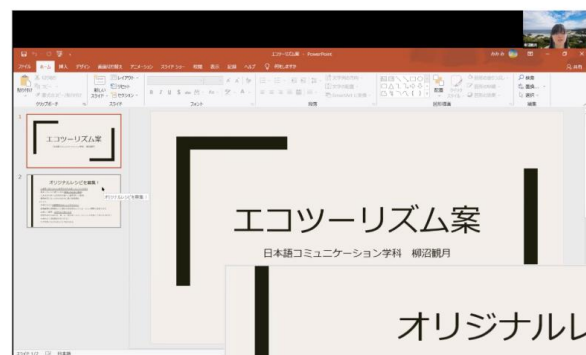
○島の特産である海産物・パパイヤ・ド
ラゴンフルーツ・黒糖・豚など。それら
が育つ場所を自転車（または車）でめぐる。

○シマをめぐる中で通る道や気候から育
つ食材やその土地・歴史との関わりを学
ぶ。

○食材が届き、自身の手元に食事として
運ばれるまでの過程を知ること、シマ
の食材に敬意を持たせる。

○エコツーリズム企画 一部抜粋

王奕維



柳沼観月

オリジナルレシピを募集！

- ・山集落で採れるもの(特産品も可)を使ったレシピを募る
 - ・集まったレシピ通りに作る(映像に残る形で配信)
 - ・できるだけ多くの住民が食べて審査(同じく配信)
 - ・優秀作品になったものはのちに島で販売開始
- メリット
- ・手作りなので初期費用がほとんどかからない
 - ・試食審査は収穫祭などに絡めれば住民もレクリエーション間隔で参加できる
→楽しく審査、交流もより深くなる
 - ・特産品をからめれば、県・市・町のホームページにリンクを張ってもらえるかも！
→あわよくば協賛金がもらえる！
 - ・ウケが良くなければすぐにやめられる

○文字起こしの文字数で110,073文字分のお話をしてくださった皆さんに感謝します。

504
参加の
文字起こし

505

506

507

508

509

世界の幸せをカタチにする。